

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 241

■ 自動車工学関連講座（新人・若手社員向けWebセミナー）
第2回「製造現場での5S」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、昨年度に引き続き、会員企業の皆様のアンケートにお応えし、新人・若手社員の十分な教育ができずにお悩みの会員企業の皆様のお役にたてるよう、新人・若手社員の皆様に必要な自動車部品の製造に関する基本的なスキルを身につけていただくため、また、社内の集合研修としてもご活用いただくため、「自動車部品の製造工場における安全教育」、「製造現場での5S」、「自動車の構造と製造工程」、「製造現場の品質管理」の4回連続のWebセミナーを開催しています。

今回は、その第2回として、当センターの松浦技術コーディネーターが講師となって、仕事の入口となる「製造現場での5S」として、5Sとは何か、5Sの進め方、5S活動が定着しないなど製造現場で日頃困っていることの解決方法について解説するWebセミナーを開催しました。

■ 日時：令和6年5月15日（水）13時30分～14時30分

■ 場所：Web形式

■ 参加者：64社／211名

2024年度 自動車工学関連講座
(新入社員及び若手技術者向け)

製造現場での5S

(整理、整頓、清掃、清潔、躰)

2024年5月15日
次世代自動車センター浜松



2. 5Sとは (1) 5Sの定義

頭文字の5つの「S」
整理(SEIRI) 整頓(SEITON) 清掃(SEISO) 清潔(SEIKETSU) 躰(SHITSUKE)

2. 5Sとは (4) 5Sの最終的な狙い

5S不足により発生するムダとムダ排除による効果

整理	5S不足による各種のムダの発生	各種のムダ排除による効果
整頓	探すムダ	コスト低減 ↓
清掃	運搬・移動のムダ	生産性向上 ↑
清潔	手待ちのムダ	不良低減 ↓
躰	在庫のムダ	故障低減 ↓
	仕事自体のムダ	安全性・安心向上 ↑
	不良・ミスのムダ	意欲向上 ↑
	聞く・聞かれるムダ	顧客評価向上 ↑
		人材の成長 ↑

3. 5Sの進め方 (3) 整理・整頓のポイント

● 5Sの教育
● モデル職場を決める
● 整理、整頓
● 清掃
● 効果の確認
● 清潔
● 全社展開
● 躰

必要なものは使え、使えないものは捨てる。必要なモノと不要なモノを区分し、不要なモノを捨てる事、必要なモノだけにする事

必要なモノ、要らないモノの判断基準を作る。

保留したモノがいつまでも使われなかったら要らないモノ

1人ではなく複数人で行う

複数人のほうが判断が早い

SWI/H	例
What	何を 工具、〇〇部品、検査機器…
Where	どこで 〇〇工程、〇〇設備、
When	いつ 毎サイクル、1回/日、1回/週
Who	誰が 作業員、監督者、保全員
Why	なぜ 組立に、検査に、作業点検に
How much	どれくらい 1個、2個、10個

4. 5Sの評価方法とレベルアップの効果 (1) チェックシートによる評価

目的は、5Sの実施状況を定量的に評価し、改善の必要性や進捗状況を把握することです。

チェックシートの例

(1) チェック項目と評価基準を表にしたもの

5S-チェックシート	項目	評価
100%	1. 整理	○
90%	2. 整頓	○
80%	3. 清掃	○
70%	4. 清潔	○
60%	5. 躰	○

(2) 図や写真を判断基準にしたもの。

インターネットでチェックシートを見つけることができますが、チェック項目が非常に多い場合があります。職場にマッチしたチェックシートを作りましょう。

チェックの結果を全員で共有する

【参加者の声】

- ・ 5 Sそれぞれの意味合いや何故行わなければならないのか、進めていくための方法やポイントがとても分かりやすく、実用的だった。
- ・ 5 Sの各項目のポイントをまとめられており、どのようにして進めていけば効果が得られるのかを知ることができた。活動するだけでなく、効果の確認をすることにより、5 Sの大切さを実感することができる。
- ・ 5 Sという言葉は知っていたし、整理、整頓、清掃、清潔、躰という中の言葉も知っていたが、各言葉がどのようなステップで実施していくのかや5 Sの各役割についての理解がなかったため、今回の講義はそれを知ることができ、大変参考になった。
- ・ 5 Sについては新入社員研修や日常業務にて耳にすることは多くあったが、意味や5 Sの活用をより詳しく考える機会となった。
- ・ 5 Sのそれぞれの言葉の意味を再び学ぶことがき、具体的な進め方などの説明や実際の写真を使った説明が分かりやすかった。
- ・ 5 Sに取り組むとどんなメリットがあるのか、また不良品を出すことを防ぐことにもつながることが分かった。
- ・ 5 Sを活性化・定着化するためにと5 S導入のステップの二つが特に参考になった。5 S活動をすることによって安全・品質・効率化・快適な職場作りができることを学んだ。
- ・ 5 Sをすることによってトラブルや事故がなくなり、仕事場の環境が整うことを知ることができて良かった。
- ・ どれだけ5 Sが大事であり、職場環境を変えることで作業の効率がよくなるかを知ることができた。今回のことを生かしていきたい。
- ・ 日々の業務で忘れがちになる5 Sについて振り返ることができた。5 Sの習慣化が職場でのコミュニケーションとなり、雰囲気良くなるといった視点は新たな発見であり、自発的に5 Sに取り組んで、活動を広げていきたいというモチベーションになった。
- ・ 5 Sの進め方(順番があるということ)、ムダどり(5 S)により安全・品質・生産性向上につながることで、5 Sが明確になり、成すべきこと(意識づけ・動機づけ)が理解できた。
- ・ 5 S活動には終わりが無いということを知った。また、整理整頓の過程は、いつかどこかで使うといった暫定的な要素を極力省き、使用用途と場所が合致するような物品配置を心がける必要があると学んだ。
- ・ 5 Sでの清潔は辞書的な意味ではなく、3 Sを維持・改善するルールや仕組み作りをする活動であることを知った。
- ・ 5 Sの進め方についてフローチャートでまとめられており、活性化・定着化させるための方策が示されており大変参考になった。
- ・ 5 Sの進め方の点で、PDCAサイクルを行うことの重要性、今後どう生かしていくかがとても参考になった。
- ・ 改めて5 Sの重要性について知ることができた。5 Sを社内で実践するにあたって、社員に意識付ける方法と5 S導入のステップの説明や、上手くいかない原因の話があったため現実的にどうしていけばよいか分かり良かった。
- ・ 5 Sの実施によるメリット、行わないことによる弊害に改めて気づくことができた。実際の生産現場を例に説明していて、理解しやすい内容だった。
- ・ 5 Sを継続するために何をすべきなのかが明確に分かった。5 Sによって得られることを明確に伝えるなどの努力が必要であるなど具体的行動が分かりやすかった。個人の努力だけではなく会社、組織としての共通認識が大切と感じた。